

プラスチック製品製造業におけるその他の材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
5	14~15	成形現場で金型を成形機にのせようと右手で金型を押さえていた時、ノズルの先端に付いていた樹脂の塊が取れた為、ノズルの中に溜まっていた高温の樹脂が吹き出し、右手の中指・薬指・小指を火傷をした。	37	50~99
5	2~3	3号機へ原料シートを設置する際、本来であれば原料シートの芯に芯棒を通し、その芯棒を使って原料シートを横に倒すところ、芯棒を通さず、直接原料シートを横に倒そうとした。原料シートを横に倒した際に原料シートと床の間に右手が挟まり、怪我をしてしまった。	52	30~49
6	10~11	残反整理をしていた所に、残反（原反）が転がってきて原反と原反の間に挟まってしまった。	64	10~29
7	21~22	第1成型に於いて、端尺の原反を隣の原反置場に移動するため、2人で鉄芯の両端を持ち、持ち上げた際、腰を痛めた。	47	100~299
7	14~15	2人で②の材料（略図参照）を設置する際当事者が後ろ向きに下がる様になってしまい、足元に置いてあった材料①に足をとられてしまい後ろ向きにそのまま倒れてしまった。倒れた際、別の材料を置いてあった木製のパレットの端に後頭部をぶつけてしまった。	67	10~29
7	8~9	機械の立ち上げ時に、前日に残った樹脂をたれ流して団子状になった物（樹脂温度約260℃）の処理中、右足に巻き付いて火傷した。	40	1~9
		ウェルネス事業部の出荷作業場で、空のダンボール箱を片付けているときに、パ		50

7	16～ 17	レットのダンボール置場の一番下のダンボールが、少し斜めに通路にはみ出ていたため、左足を引っ掛けて転倒し、左手首で体を支えることができず、顔面を床にぶつけ負傷した。	58	～ 99
7	10～ 11	本社工場内にて、FRP（強化プラスチック）板（1350×1500×30mm）をパネルソー上でカット作業中、位置合わせのため少し横に移動させたところ、手前へ傾き、そのままFRP板（約90kg）が落下し、底部が右足甲に当たり負傷した。	42	1～ 9
9	14～ 15	射出成形機の整備中、シャフトのフタを開ける為に、カナヅチで同僚がたたき本人が押さえていた所、フタがいきなり開きレバーがはね返り、右人差し指に当たり負傷したものである。	40	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html